



04 :

マスターコースの3日間

1月29日。コース初日の朝を迎える。ホテルでバイキング形式の朝食をとる。朝食後、ホテルの近くを同室者と散策する。天気がよく、ドゥーモも写真栄えがよかった。空気が冷たかったが、コース前に意気込み過ぎている頭を冷やすのには丁度よかった。

ホテルから Villa Miari まではバス移動。約20分を要した。徐々に山中に入り、道も狭く、こんなところにセンターがあるんだなと思うと不思議な感じがした。そうしていると、道端に「Villa Miari」の看板を見つける。バスに乗車しているコース参加者が一斉に写真を撮った。

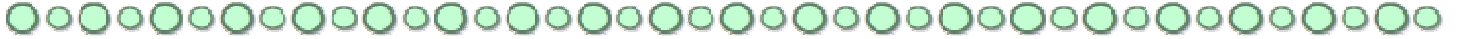
バスごと門をくぐり、新しく出来た研修棟へ向かう。日本のコースとしては初めて使用するとの事で今までのコースとは場所が違っていた。真新しい研修棟でのコースがスタートした。

コースは内容が濃く、認知神経リハビリテーション初心者の私には、ついていくのが困難だった。(多分、ついていけないが…) 実技も豊富で、実際に考える時間や体験する時間が設けられていた。私はマリーナ先生のグループで、実技のデモも体験することが出来た。実際動かしていただき、自分自身が楽に体を預けられた経験をする事が出来、セラピストの技量で大きく変わるのだなと改めて実感した。

昼食はセンター内の食堂で頂いた。昼からコース料理で、ワインも常に用意されていた。生野菜がセルフサービスだったので助かった。苦手なポレンタも出ていて、残すことが多かった。

コーヒブレイクは、エスプレッソマシンがあって、美味しいコーヒーを頂くことができた。小さなお菓子と共にチーズも用意されていて大満足だった。

コース中の合間に、先生方と一緒に記念写真を撮ったり、稚拙な質問を通訳の先生方を通して答えていただいたり、充実した3日間を過ごすことが出来た。



### Ground of yearning

見えてきた時は、感動しました。いよいよだ…って!!



3日間、本当に楽しい研修を過ごすことが出来ました。

Thank you for your kindness for three days.

### Course

#### closing ceremony

パルヴィティ先生から直接手渡していただきました。

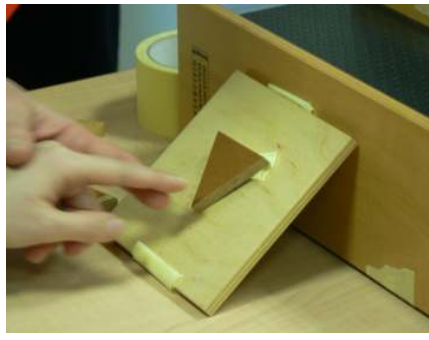


リゼロ先生  
パンテ先生  
マリーナ先生と

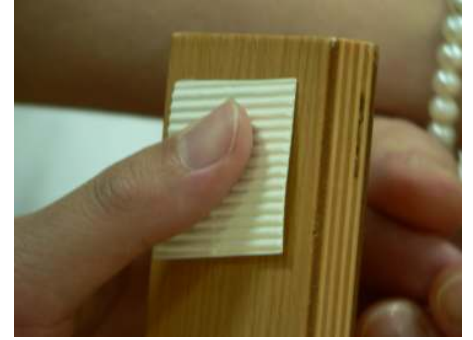
Important  
souvenir picture



*Politely*



*Quietly*



*Delicacy*

# LINGUAGGIO IN RIABILITAZIONE

## Parlare col malato

*Definition*



*Searches*



*Artistic*



*Silence*



*Historical*



*Reunion is promised.*